

昔の街を知ること、今の街を知ることだ

講演会

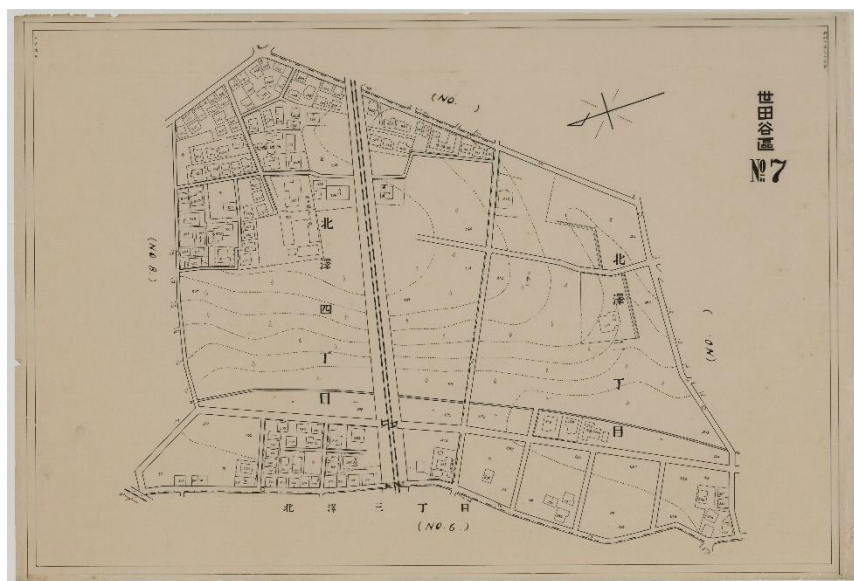
戦前期東京の 火災保険地図の愉しみ

世田谷区版発行を記念して

日時 2026年3月14日(土) 午後2時～4時(午後1時45分開場)

会場 世田谷区立中央図書館 (世田谷区弦巻3-16-8)

定員 80名 (先着順／中学生以上対象)



『戦前期東京火災保険特殊地図集成 第19巻』辻原万規彦編集、創元社より

戦前の東京の街並みを詳しく知ることができれば、今の街並みとの違いや類似点を知ることができ、街歩きもきっと楽しくなると思います。でも、当時、住宅地図はありませんし、写真では写っているところだけしかわかりません。

しかし、火災保険会社の業務のために作製された「火災保険地図」には、建物の名称や居住者名、建物の構造や階高などが描き込まれているのです。

世田谷区立中央図書館には、復刻された東京の火災保険地図が所蔵されています。世田谷区版も配架されました。これらの火災保険地図を眺めていると、100年前の東京にタイムスリップして、時を忘れてしまいます。

皆さんも、この講演会をきっかけに、戦前の東京の街並みに思いを馳せてみませんか。

申込方法

2月1日からオンライン受付



講師 辻原 万規彦 (つじはら まきひこ) 氏

熊本県立大学環境共生学部 教授。1999年 京都大学大学院工学研究科 博士後期課程修了、博士(工学)。台湾などを対象に戦前期の都市や建築の歴史に関する研究に取り組む。工場や社宅街の建設が地域に与えた影響についての研究に欠かせない、当時の大縮尺の都市地図の研究も進める。著書に『臺灣糖廠與社宅街變遷圖集』(台湾 中央研究院人文社會科學研究中心) など。



世田谷区立中央図書館

世田谷区弦巻3-16-8

電話 03(3429)1811